

2026-2027

■本日のロータリーソング

我等の生業

WEEKLY BULLETIN

7月16日(木) 第3号
第3166回 例会

札幌東ロータリークラブ TODAY'S PROGRAM

就任挨拶(3) 各委員長



就任挨拶(2) 幹事、SAA、各委員長

福見隼人 幹事

第68代幹事に就任いたしました福見です。今年一年間何卒よろしくお願いいたします。

今年の春頃に野村元会長と梅澤直前会長、清野直前幹事、出倉会長、私の5名で食事をする機会があり、その際に野村元会長から「このメンバーで僕が知らないのは君だけだ」ということで、私も入会10年以上は経過するものの、影が薄いためかまだまだ自分のことを知らない会員も沢山いるなど改めて思いましたので、本日は私が入会してから今日にいたるまでに経験したロータリー活動や出倉会長との思い出をお話させていただきます。

私は約12年前、平成26年10月に32歳で、歴史と伝統のある札幌東ロータリークラブに入会させていただきました。入会に際しては矢橋会員にご紹介いただき、高山会員、友廣会員には推薦人となっていただきました。入会から2年間は親睦活動委員会、その後クラブ会報委員会、SAA等に所属しながら、ロータリー活動を行ってきました。とある年度の家族会の余興でビンゴ大会が企画されていまして、そのビンゴ大会の景品について何か協賛してもらえないかという依頼がありました。他の会員の方ですと自社商品、製品やサービス等素敵な景品を協賛することができたと思いますが、私は不動産業の仕事で売買や仲介という性質上、これといった商品が思いつかなかったのですが、以前取引先から無理やり購入させられた不要な土地である鹿児島県の実業家を景品として協賛したところ、笑いが取れました。その時は友廣会員に当たり無事に名義変更をすることができ、数年後にその土地は売却することができたようで、数十万円の利益が出たと伺っております。次の家族会でも「何か面白い不動産はないの？」と協賛依頼がありましたので、当時所有していた不要な不動産である小樽市春香町にある場所が特定できないような崖を協賛し、その次の家族会では今金町の営業休止した公衆浴場を景品として協

賛しましたが、いずれも当選者の方からはそんな不動産はいらないとのことで、権利証が返還されました。その後は家族会でビンゴ大会が開催されても景品の協賛依頼がくることはなくなりました。

ロータリー活動に慣れてきた入会5年目頃、出倉会長から「今度食事に連れて行ってあげるよ」と声をかけていただきました。その食事会は土曜日で、ロータリークラブの行事があるわけでもなく違和感がありましたが、その日の夕方に地区インターアクト委員会が開催されること、そして出倉会長はその地区委員であることが分かりました。それまでは地区インターアクト委員会のことを深く認識していなかったのですが、年に5回程土曜日に会議を開いていること、年次大会や研修旅行の企画運営、札幌以外にも室蘭や岩見沢からもロータリアンが集まっていること等をお聞きし、大変な委員会もあるのだなという印象を持ちました。その委員会で私はただ横に座っていれば良いから、会議が終了したらすぐ飲みに行こうと言われていたもので、こんな楽なことがあるのかと軽く考えて参加しました。実際その委員会では出倉会長のお言葉のとおり、横に座ってただ話を聞いているだけで委員会が終了し、その後美味しい食事とお酒をいただくことができました。

その数か月後、出倉会長から「この間参加してもらった地区インターアクト委員会がまた開催されるけど、僕は予定があって行けないから代理出席をお願いしたい」という相談がありました。あくまでも代理出席だからという軽い気持ちで次の委員会に出席しました。その後はしばらく何もなかったのですが、ある日地区事務局から私に対して地区インターアクト委員への委嘱状が届きました。最初は何のことかよくわからなかったのですが、地区委員の引継ぎはこうやってやるものなのかと、とても感心したと同時にこの時から私の地区インターアクト委員としての活動が始まりました。

持続可能なインパクトを生み出そう

2026-2027 年度 国際ロータリー会長のメッセージ

国際ロータリー会長: オラインカ・ハキム・ババロラ

THE ROTARY CLUB OF SAPPORO-EAST WEEKLY BULLETIN

第2510地区

Rotary

札幌東ロータリークラブ



地区インターアクト委員在任中は、北海高等学校インターアクトクラブの顧問や部員との交流を通して、青少年奉仕活動を学びました。また、地区内の提唱クラブのロータリアンや全国インターアクト研究会へ参加したことで他地区のロータリアンとの懇親を深めることもできました。地区インターアクト委員として約7年のうち委員長を3年間経験し、2年前から本間裕美会員に地区委員をお願いしております。

昨年一年間は副幹事として、清野直前幹事の横で幹事の仕事を勉強しながら、今年度に向けた準備をすすめてまいりました。分からないことを都度相談させていただきました清野直前幹事には感謝申し上げます。

今年度は幹事を拝命し、例会運営に関わることが多岐に渡りますが、自分自身が今まで携わることが多かった青少年奉仕活動、地区インターアクト委員会での経験をもとに、出倉会長方針のひとつである、「青少年」、また、活動計画にある「インターアクトクラブと共に」について担当委員会の皆さんと共にクラブ運営に寄与できるよう努めていきたいと考えております。

今年度の上期はうなぎ・流しそうめんの納涼例会、青少年奉仕事業、社会奉仕事業、古瀬副会長が企画された移動例会、下期には例会場の移転等慌ただしくなりますが、皆さんにご協力いただきながら楽しい例会運営を心掛けていきたいと思っておりますので、一年間よろしく願いいたします。

岡澤邦幸 SAA

本年度、SAAを務めます岡澤邦幸です。どうぞ1年間よろしく願いいたします。本年度のSAAは、副SAAとして喜多伸行会員(60歳)、穴田秀樹会員(56歳)、池田俊介会員(46歳)の3名に、私(56歳)を合わせて合計4名の体制(平均年齢55歳)



で、おもてなしの気持ちを持って会場監督と例会運営を行ってまいります。SAAとして4つのテストにちなんで、4つの願いをお伝えいたします。

1点目は食事についてです。先週出倉会長の素晴らしい就任挨拶がありましたが、その中で現実的な対応を行うとおっしゃっていました。

いまはインフレが止まりません。まだまだモノの値段が上がると言われていいます。パークホテルさんには

かなりご尽力いただいておりますが、当クラブの会計・収支はかなり厳しく、食事の内容に手を付けざるを得ません。例年ですと、軽食は月1回、通常食事は月3回ではありますが、本年度は軽食が月1回、通常の食事が月2回、品数を少なくした通常の食事が月1回の3パターンとなります。食事内容の低下に懸念を示される方がいるかもしれませんがこの点をご理解いただきたいと思います。

2点目は服装についてです。現在クールビズでネクタイ着用は個々の判断となっておりますが、本年度は前年度に引き続き、期間に関わらず通年クールビズ対応で、そして服装はロータリアンらしく例会会場に相応しいものであれば自由といたします。イメージとして、先週の理事会でもお伝えしましたがダメージジーンズ以外はOKといたします。私は本日の卓話者なのでネクタイを着用していますが、メリハリをつけるためです。来週以降は本日の渡辺委員長の様なTシャツにジャケットの服装でSAA対応を行います。服装については大人の対応をお願いしたいと思います。また一方でガバナー公式訪問の際は、全会員一同、白シャツとネクタイの着用をお願いしたいと思います。これは決してガバナーが偉い訳ではなく、当クラブの会員全員が一丸となってガバナーをお迎えするセレモニーの一環として行うもので、我々の想いを一つにする意図でありますことお伝えいたします。しかしながら、ガバナー事務局より「本年度のガバナー公式訪問はクールビズで対応して欲しい。」旨の連絡がありましたので、出倉会長・福見幹事と相談したうえで、皆さんにシェアしたいと思います。

3点目は出席率についてです。私が幹事や副会長を務めさせて頂いた際にもお願いしておりましたが、是非とも例会に出席してください。私の持論として例会の出席率というものは、その年度の会長の支持率だと思っております。

川幡年度はコロナ禍で、当時はYouTube配信がありましたが、コロナ禍でも80%を超える出席率で、出席率が約85%の例会もありました。これは当時の幹事であった出倉会長がもっとも嬉しかったと思いますし、本年度の幹事である福見幹事にも同じ様な経験・体感をしていただきたいのです。特に新会員の皆さんは仕事や急用が無ければ例会にご出席ください。

4点目が最もお伝えしたいこと、新会員への対応です。昨年度の梅澤会長・清野幹事・本間会員増強委員長の頑張りにより11名の会員にご入会いただきました。近年では故・大岡委員長以来の実績で、梅澤直前会長はトップセールスで自ら会員増強に取り組み、特に凄いい



と思ったのは國見会員に入会いただいたことです。ご存知の様に國見会員は高校時代に当クラブにお世話になったとの理由で、昨年度多額の寄付をして頂きました。普通ですと國見さんへ感謝状をお渡しして感謝の意を述べて終えるのが普通かと思うのですが、梅澤直前会長はそこで留まらず、ロータリーの理念を伝え入会を促しました。この梅澤直前会長の一連の行動・背中を見て、改めて会長職を務める方の行動力は他とは違う、大所高所で行動されていると感じました。全員が梅澤直前会長の想いや行動を取ればもっともって会員数は増えると確信し、私自身も頑張る決意をしたところです。

皆さんにお願いしたいことは、入会の浅い方に積極的にお声掛けいただきたいのです。かつて、「新会員から何故挨拶が無いんだ？昔は新会員が自ら積極的に声掛けしたものだ。今の若者はこんなものか？声掛けしてくれないから名前と顔が一致しない。」と話された会員がいました。確かにこれは正しいお考えかと思いますが、私はやや違和感を覚えます。いまは昔と違ってロータリー・ライオンズ・JC以外にも様々な団体があり、個の時代にも関わらず、ロータリーを選んでいただき、そして当クラブを選んでいただいたのです。私は入会いただいた新会員には感謝の気持ちしかないですし、私は必ず一言声掛けいたします。逆の立場であれば声をかけて頂ければ嬉しいですし、私は入会間もないころ、星野さん・岩崎さん・瀬尾さんに声を掛けられたことを今でも覚えております。ここにいる皆さんは経営者です。皆さんの会社に胸一杯に心弾ませ入社いただいた新入社員に対し、そして人出不足の時代において「何故社長の俺に挨拶が無いんだ？新人が挨拶してくれないから名前を覚えられない。」と言うのでしょうか、そんな会社に長く勤めたいと思うのでしょうか、ロータリーも一緒です。時代は変わっているのです。過度なおもてなしをする必要はありませんが、社会人として当たり前の振る舞いをお願いしたいのです。ここにいる皆さんには積極的に声掛けいただき、一言でもいいのです。ロータリーの楽しさや理念をお伝えしていただき、そして顔と名前を覚えて欲しいのです。少しだけでも結構ですので行動して下さい。

賛否あると思いますが、以上がSAAからの4つのお願いでした。

渡辺健太 親睦活動委員長

このたび、親睦活動委員会の委員長を拝命いたしました渡辺でございます。どうぞ一年間よろしくお願いいたします。

まずは、このような大役を任せていただきましたこ

とに、心より感謝申し上げます。微力ではございますが、会員の皆さまがより楽しく、より参加しやすく、そしてより結束を深められるクラブづくりに努めてまいります。

ロータリーには「奉仕」という大きな目的があります。しかし、その奉仕活動を支えるのは会員同士の信頼関係であり、友情であり、互いを理解し合う心だと思います。

例会で顔を合わせるだけではわからないことも、親睦の場では自然と知ることができます。仕事のこと、家族のこと、趣味のこと、人生の経験など、さまざまな話を交わすことで会員同士の距離は縮まり、それがクラブの活力につながっていきます。

私は親睦活動委員会の役割を、「楽しい行事を企画すること」だけではなく、「会員一人ひとりが居場所を感じられる環境をつくること」だと考えています。

特に新会員の皆さまにとっては、最初は少し緊張しながら例会に参加されることもあるかと思います。そんな時に気軽に声をかけてもらえたり、一緒に食事をしたり、行事に参加したりすることで、クラブへの親しみや帰属意識が生まれます。

また、長年クラブを支えてこられた先輩会員の皆さまの経験や知識を若い世代へつなぐことも、親睦活動の大切な役割だと思っています。世代を超えた交流が活発になれば、クラブはさらに魅力ある組織になると考えております。

今年度は、参加して良かったと思っていただけるような親睦行事を企画してまいります。7月30日に企画している納涼例会は例年とは違う形で夏を皆さんに乗り切っていただけるようお食事にご用意させていただいております。この機会をきっかけに出席率の向上につながればとてもありがたいと思います。また、気軽に参加できる交流の機会であるFSMも大切にしたいと考えております。

もちろん、委員会だけで親睦を深めることはできません。会員の皆さまお一人おひとりのご協力があるこそ、温かいクラブの雰囲気が生まれます。

ぜひ例会や各種行事の際には、普段あまり話す機会のない会員にも一言声をかけていただきたいと思います。その小さな交流の積み重ねが、クラブ全体の結



束を強くし、より大きな奉仕活動へとつながっていくはずです。

私自身も、できるだけ多くの会員の皆さまとお話し、ご意見やご要望を伺いながら委員会運営を進めてまいります。「こんな企画があったらいい」「こんな交流の機会が欲しい」といったアイデアがありましたら、ぜひお聞かせください。

一年後に、「楽しかった」「多くの仲間と交流できた」「クラブへの愛着がさらに深まった」と感じていただけるよう、委員会メンバーと力を合わせて取り組んでまいります。

最後になりますが、親睦はロータリー活動の土台であり、クラブの未来を支える大切な力です。会員同士の友情と信頼の輪をさらに広げ、誰もが参加しやすく、笑顔あふれるクラブづくりを目指してまいります。

皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げまして、親睦活動委員会委員長就任のご挨拶とさせていただきます。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

白井晴彦 社会奉仕委員長

社会奉仕委員会の委員長を務めさせていただきます、白井晴彦です。委員長を務めさせていただくにあたり、先日退任された渡辺健太前委員長には、多くの委員会資料を引継ぎでいただき感謝するとともに、この例会場以外のところで多くの準備をされていたことが想像でき、驚いております。多くの方々がさまざまな役職をされるにあたり、見えないところで多くのことを準備されていることに感銘を受けました。

私は、2023年の1月に、この札幌東ロータリークラブに入会をさせていただきましたので、それから3年と半年が過ぎました。先日、入会してから何年になるの

かを聞かれたのですが、自分の誕生日や年齢と同じように、改めて聞かれると、いつだったかな・・・その年数が浅いにも関わらず、忘れてしまいます。そこで入会年月を札幌東ロータリークラブの素晴らしいホームページより、会員会報の検索ページから自分の名前で検索し、自分の新会員卓話の内容を閲覧して確認いたしました。

どの委員会がどのような活動をしているのかを把握するには、まだまだ年数が浅いため、このように委員長を務めさせていただくことになりましても、何をどのようにしていくのか、分からないことばかりです。また、活動内容が見えづらい縁の下や草の根活動をされている方も多くおられるのだと感じることもあります。

さて、本年度の社会奉仕委員会は、11月にろう者とのフットサル交流会を継続事業として開催させていただきます。ろう者と健聴者が同じ会場で相互理解をしながら、何かしらの気づきを持てる機会に出来ればと、これから開催準備をして参ります。

北海高等学校の生徒やインターアクトの生徒と一緒に、相互扶助、利他の心をもって活動に取り組んで参りますので、会員のみなさまにもお力添えをいただくことがあると思いますが、その節は、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



2026～2027年度 札幌東ロータリークラブ理事・役員
(7月2日第1回定例理事会前に撮影)

